

第6図 K-8-1・2・3・4号機温度測定結果の一部

4号機では尾翼について流れ方向の温度分布をなるべく純粋に測定するよう工夫を加えた。

9型の測定結果は「構造」(42ページ)の項に掲げてある。

これらの測定結果は計算結果と対応させて、空力加熱特性の推定、次期設計の資料として重要な役割を果たしたが、なおまだ検討すべき多くのものを含んでいる。

3. 歪計

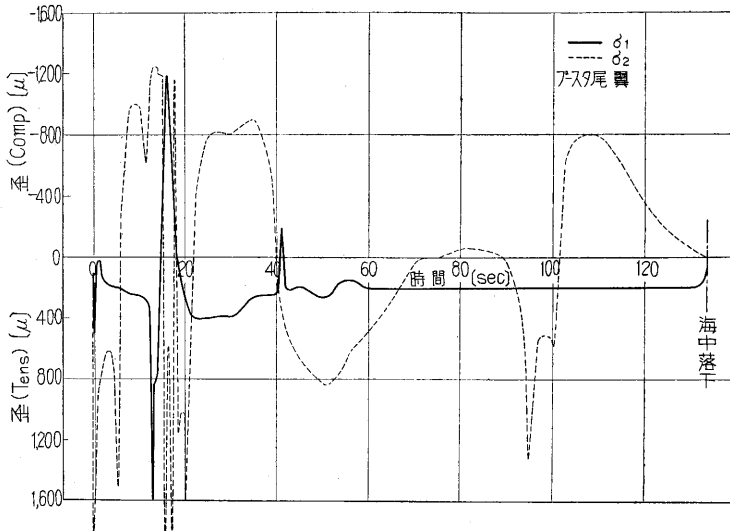
歪計は K-7・K-8D および K-8-1号機の尾翼の歪測定に用いたが、計器としては前報告<sup>(1)</sup>と同様である。測定結果を第7図と第8図に示す。

燃焼終了前後に大きく不規則な歪が生じていることが判るが、これより全体の負荷特性を推定するには、尾翼の荷重特性、空力加熱特性と燃焼終了前後の外力の特性とをあわせて考慮せねばならない。詳細な検討や熱の影響の吟味はなお今後の問題と思うが、尾翼負荷の概要は本測定で判明した。

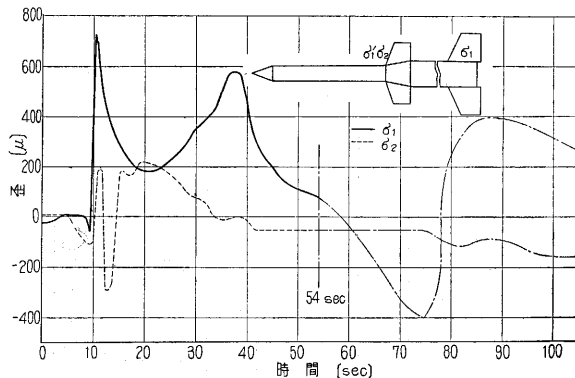
(1961年8月5日受理)

文献

- (1) 森大吉郎, 莊司敦; 生産研究, Vol. 9, No. 4, P. 192, (1957)
- 森大吉郎, 富田文治, 岡田繁: 生産研究, Vol. 10, No. 10, P. 296 (1958) および Vol. 11, No. 8, P. 341 (1959)



第7図 K-8Dの歪測定結果



第8図 K-8-1の歪測定結果

正誤表 (9月号)

頁	段	行	種別	正	誤
14	左	下より19	本文	液中に	液体に